

令和4年度 1月号



横浜市立今宿小学校

<今宿小学校学校教育目標>

☆☆育てたい「いまじゅくの子」☆☆

- い ○いきいきとした心と体をつくる子 (体)
- ま ○学びをいかそうとする子 (知)
- じ ○自分とみんなを大切に使う子 (徳) ← 今月号はこれ
- ゆ ○ゆめをもち人の役に立とうとする子 (公)
- く ○くらしをよりよくしようとし世界に目を向ける子 (開)



今宿小学校  
WEB ページへ

## 大切にしたいこと

校長 島田 恒弘

あけましておめでとうございます。感染再拡大が報道される一方で、新幹線が増便されたほど多くの方が帰省等で移動したと報道されていました。また、新型コロナウイルス感染症を2類から5類へ変更を検討すると政府が言い始めたことからみると、「with コロナ」へと舵を切ろうとしているのでしょう。医療現場はまだまだ大変な状況にあるので学校という集団生活の場においては、引き続きクラスターの発生には十分注意していきたいと思っております。ご理解とご協力をお願いします。

さて、先月は人権月間でした。私が校長として大切にしたいことの一つに「人権教育」があります。今宿小学校教育目標「自分とみんなを大切にする」を日々の教育活動全ての場面において実践していきたいと思っています。

ですから人権月間には様々な取組を実施しました。その中で6学年が取り組んだ「人権移動教室」を紹介します。

横浜国際人権センターの活動の一つで、医師たちが人道援助を行っている「アムダ」や「国境なき医師団」の活動を紹介して、命の大切さや心配りなどについて子どもたちに考えてもらうというプログラムです。講師の杉藤先生はご自身も海外へ行って活動されている方で、そのお話には人の心を掴む重みと温かさがあふれていました。

杉藤先生のお話を聞いた児童の作文を紹介します。ぜひ、「自分にできる『人権を守る』とは何か」についてご家族と一緒に考えてみてください。

- 人権とは？ 自分も最初はどうか分らなかったけど、話を聞いて「命と幸せを大切に生きていくこと」と知って、これからは人を大切に生きていきたいなと思いました。人権を難しく考えすぎずに人を大切にしたら、人から嫌われないと言われて「たしかに」と思いました。
- 今日の人権教室で学んだことを考え、いろんな人に目を向けるということが大事だと思いました。いつも道徳の授業などで振り返りをするとき、「相手の気持ちを考えて行動する」と書いていました。だけど、改めて考えると自分は出来ていないしとても難しいことなんだと気づきました。
- 私はさっきの授業を聞いて、人権は複雑なものじゃなくて身近にあるものだと感じました。国境なき医師団のような活動はできなくても、自分にもできることはあるし、それが無意識のうちにできる人が増えれば地球はもっと良くなると思うので、私自身先ずは考えて、人権尊重になる行動をすることが良い地球を作る第一歩だと思うからさっそく行動を起こしていこうと思いました。
- 人権という言葉をいつも心にとめて、毎日生きていられることに感謝しながら過ごしていきたいと思っております。そして、私もやさしさをすぐ人に向けられるように努力していきたいと思っております。

「放課後自習室」の見守り協力者を引き続き募集中です。水曜日 14:30～15:30@体育館横マイルーム

「おはやしクラブ」は2月1日、3月8日の水曜日 14:30～15:30 音楽室で行います。

3月9日には、全校に演奏をお披露目する予定です。

**「おはやしクラブ」をやっていた中学生、高校生のみなさん、ぜひ教えに来てください！**